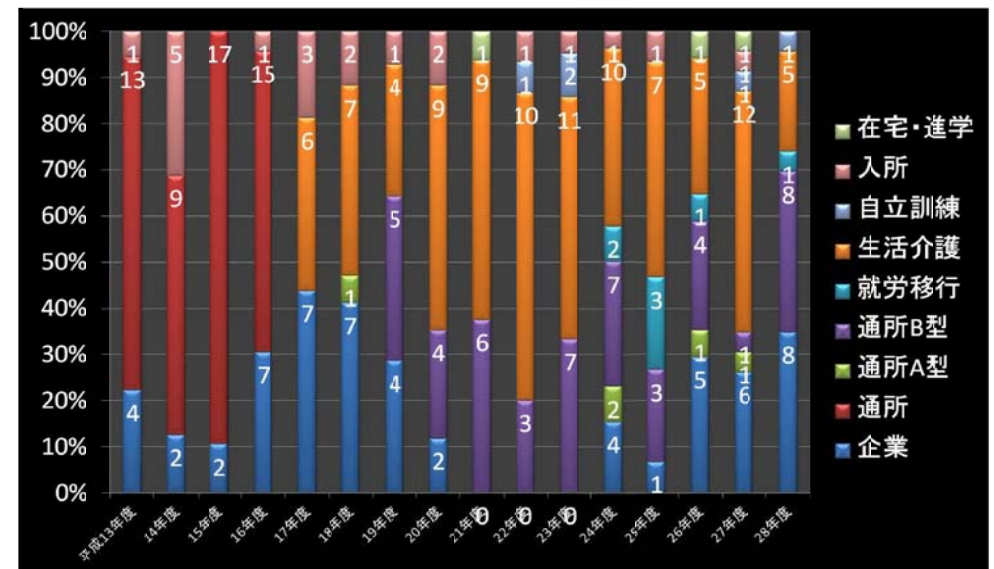


将来的に自立し
地域で生きていく存在感、
社会で必要とされる有用感に
満ちた生活ができる子を目指して



神田美栄子

16年間の本校の進路先の推移



企業就労の推移

第1期

- 平成15年度の途中から、生徒のニーズや希望する進路に応じた学級や教育課程を見直して取り組み、企業就労が増えた。

第2期

- その後福祉サービス利用者が増え、企業就労は減った。

第3期

- 26年度に八幡に赴任し、就労のニーズがありながら機会が無い生徒に対し、生徒・保護者・職員への意識改革を図り、取組を開始した結果、就労者数が向上した。

第3期の取組の過程と成功の要因について、報告する。

卒業時に生徒に願うこと

- 働くことに誇りを持ち、地域の一員としての存在を感じる。
- 社会で必要とされる有用感に満ちた生活を送る。



高等部 進路関係の1年間の流れ

八幡特別支援学校高等部 進路関係1年間の流れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者） ハローワーク （本人・保護者）	ハローワーク （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）
2年	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）
1年	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）
卒業生	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）	進路関係の1年間の流れ （本人・保護者）

進路に関する年間スケジュール

- 懇談（本人・保護者）
- 企業開拓（地域の研修実習先・産業現場等における実習先）
- 前期の実習と振り返り・後期の目標の確認
- 夏のボランティア清掃と振り返り
- 後期の実習と振り返り・次年度の目標の確認
- 次年度に向けた課題の整理と体験の場の設定

進路指導主事との懇談と振り返り

- 1年生は、入学後5月に保護者・担任との個人懇談
- 2年生は、2月に本人・保護者・担任との個人懇談
- 3年生は、7月・12月に、本人・保護者・担任との個人懇談
- 産業現場等における実習後、校内・校外ともに全員、本人・担任との振り返りを実施する。

企業就労を目指す生徒の保護者への支援

- 入学時に希望の確認
- 本校の企業就労への取組方針の説明
- 生徒の実態に応じた就労に向けた指導支援の計画の提案と協議
- 保護者の役割や家庭での取組の提案と協議
- 振り返りによる課題の整理と次の提案と協議
- 本人・保護者の納得する進路先の決定

本校における就労体験



地域社会での有用感を味わう取組

目的) 自分のできることで、地域の方に喜んでもらい、達成感を味わう

清掃ボランティア	喫茶サービス
清掃 あいさつ コミュニケーション	接客 お茶の提供 コミュニケーション

生徒の実態とめあて

生徒の実態

- 自己肯定感が低い。
- 自分からあいさつができない。
- 自発的な動きが少ない。
- 働く意欲に乏しい。
- 動作が緩慢に見える。

めあて

- 笑顔であいさつをする。
- 自分から仕事の始まり、終わりを伝える。
- 仲間と協力して、気持ちよく活動に取り組む。
- 交通ルールを守り、安全に留意して校外施設へ行く。



就労に必要な心がまえと コミュニケーションを実社会で学ぶ

第1クール(7/21 ~ 7/25)



第1クール(7/25 大人のサロン)



第2クール(7/26 ~ 7/29)



第2クール(7/26 ~ 7/29)



第2クール(7/26 ~ 7/29)



第3クール(8/1 ~ 8/5)



生徒の感想

- はじめは、暑くて嫌だなと思った。最後まで休まないでよかった。スクイジーが上手になりたい。(1年 女子)
- 高圧洗浄機を使ってベランダを掃除したらすごきれいになった。時間があつたらもっとしたかった(2年 男子)
- 3年目になって、1年生より2年生より体力があるなと感じた。(3年 男子)

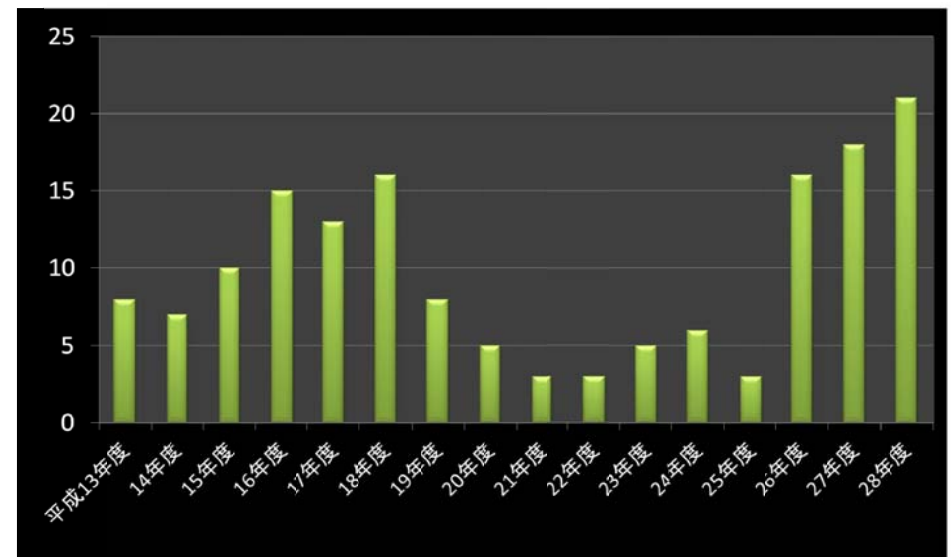
産業現場等における実習先の開拓

- 生徒の希望にあった職種, 特性にあった職場を念頭に, 協力してくれる企業を回る
- ハローワークと連携

実習先開拓に必要なもの

- 生徒への愛情と情熱
- 笑顔, 礼儀
- コミュニケーション能力
(ありがとうございます, 申し訳ありません, お時間いただいてよろしいですか 等)
- 押しの強さ, 引き際を見極める力

16年間で実習した協力企業数の推移



産業現場等における実習の様子

企業実習



松本電子工業



池田冷熱工業



さわやかレークサイド中の原

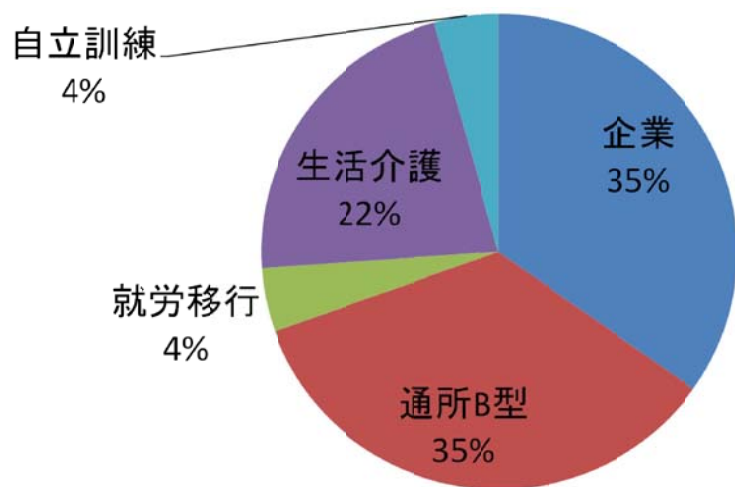


(社福)こもれび学園 事務室



イオン若松店

本年度の卒業生の進路先



卒後支援で変容が難しい事例

27年度 卒業 男性 Cさん

- ・療育手帳 身障手帳
- ・懇談では、就職をしたいと強い希望を伝えてくる。
- ・高齢者施設での清掃業務
(1F面会フロアー、事務所、社長室、トイレ)
- ・高3の前期、後期産業現場等における実習で採用決定をもらう。
(あいさつも良く、前向きに仕事をすると評価)

雇用先からの相談

- ・遅刻や欠勤が気になる。
- ・トイレの中にいる時間が長い。
- ・仕事が雑になったようにある。
- ・どこまで強く指示を出していいか分からない。

学校側からの支援

- ・本人、保護者を学校に呼び状況確認をした。
- ・仕事に対する姿勢が良くないことを認め改善することを約束した。
- ・進路指導主事、進路担当が会社へ訪問し、仕事内容を再度確認した。
- ・写真を撮り、勤務開始から終了までの流れを作り最終チェックをしてもらうようにした。
- ・旧担任が、随時連絡を入れて状況を把握する。

支援の実際

清掃チェック表		月 日 ()
午前清掃 9:00 ~ 10:30 ①玄関マット清掃 ☐ ②モップで床の乾拭き ☐ ③モップで床の濡れ拭き ☐ ④トイレ床掃除(男・女) ☐		廊下 A B C D E F G H
10:40 ~ 12:00 ①手すり拭き ☐ ②手すり下の壁拭き ☐ ③下駄箱拭き ☐ ④玄関窓(スクイジー) ☐		
午後清掃 13:00 ~ 14:30 ①カーペット、椅子拭き ②今日の清掃(床磨き)区域 (A B C D E F G H) ☐		
14:40 ~ 16:00 ③今日の清掃(床磨き)区域 (A B C D E F G H) ☐		
施設担当者 ☐ 印		



小学部から本校に在籍し 就労した事例の紹介



卒業生 Aさんについて

- 療育手帳A2
- TK-TB(V)によるIQ 30(高1)
- 構音障害があり、発語が不明瞭
- 理解語彙は6歳程度
- 性格は明るく穏やかで、人が好き
- 落ち着いた家庭で、両親は協力的



小学部の時の様子

- 親は熱心で言語訓練に通っていた
- 高学年では、本人の好きな写真を撮れるようにデジカメを買い与え、写真を見て話を聞いていた
- ことばで伝えることは難しかったが、コミュニケーション意欲は高く、指さしや身振りで伝えようとしていた。
- 社会性や身辺処理能力が高く、誰からも好かれていた。
- クラスでよくお手伝いをしていた。

就労に至る経緯

- 高2, 高3では通所, 入所施設で産業現場等における実習を行った。
- 高3で, 就労希望の生徒の実習前の事前学習(食器洗い)を見て, 「自分もしてみたい」と言って練習した。
- 汚れを見つけ, きれいに洗うことができた。
- 本人の希望を聞き, 実際の場面(特別実習)で試してみるようになった。

特別実習の様子



- 成果は出なかった。
- 課題として, 理解力が低く, 指示が伝わらないことが上げられた。
- 誰かがついて細かい指示を出すことが必要。
- 卒業までには, 就労に至らなかった。

卒業後の継続した取組

- 卒後も継続した指導を行うために、本市の特別支援学校高等部卒業生を対象とした非常勤嘱託員(校務員補助)として、1年間採用。
- 校務員に常に同行し、細かく指示を聞いて、して見せてもらい、その模倣をして業務を行った。
- 毎日、同じことを繰り返し、継続して取り組む中で、任せてもらえる仕事ができきた。
- 8月に、企業での経験としてボランティアで仕事体験をした。

ボランティア体験での仕事内容

- 清掃(館内, トイレ, 階段, フロア等)
- 食器洗浄
- 体験の結果, 採用が決まった
- Aさんの良かった点
笑顔, あいさつ, 素直, 指示に従う,
自分から報告する, 家族の協力

現在の様子



高齢者のデイサービスの厨房で、
洗浄をしている様子

週5日、13時～17時まで
パートとして勤務。

それ以外の時間は、家事の
手伝いや写真倶楽部に入り、
余暇を楽しんでいる。



まとめ

- この理解力、知的能力なら、就労継続B型、生活介護等、大人側の先入観で、進路先を選択して良いでしょうか？
- 本人の希望を聞いて、可能性を信じて、挑戦を支援する姿勢が必要ではないでしょうか？
- 常に、本人を中心に据え、進路指導主事がリーダーシップを取って、家庭・担任・実習先で情報交換を密にして進路決定をすることが望めます。